

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 3 年 6 月 1 1 日

枚方市長 殿



住 所 大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号
提出者 日本精線株式会社 枚方工場
氏 名 執行役員 枚方工場長
大塚 雅彦
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 072 (840) 1261

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本精線株式会社 枚方工場
事業場の所在地	大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号
計画期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	24 金属製品製造業
② 事業の規模	令和2年度の製品出荷額 349億円
③ 従業員数	568人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・使用薬剤の更新延長を図る ・強酸の一部を再利用		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・強酸の社内無害化処理方法を探索する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・発生部門毎に廃棄物の種類別に分別を行う。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状継続

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実績なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
②計画	（これまでに実施した取組） ・強酸の一部を社内で中和及び脱水後残渣（汚泥）を社内処理及び処理能力を増強する。		
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・現状を継続			

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実績なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・優良認定業者への処理委託優先 ・低濃度PCBの処分、高濃度PCB廃棄物のJESCO登録 ・収集運搬・処分業者へ定期的に処理状況の確認を実施		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者への処理委託優先 ・収集運搬・処分業者へ定期的に処理状況の確認を実施		
	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	600 t	
電子情報処理組織の使用に関する事項	(今後実施する予定の取組) ・新たに使用する者へのJWNET操作体験セミナー参加		
	※事務処理欄		

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

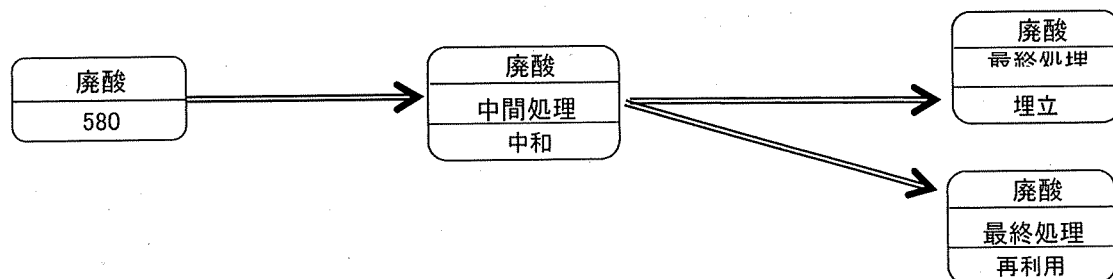
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にとっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

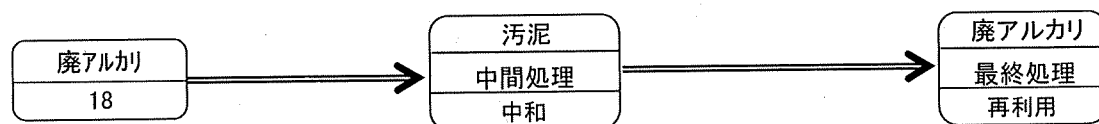
2020年度処理工程フロー図

特管のみ

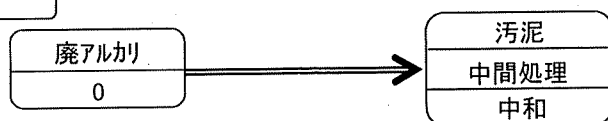
B-1



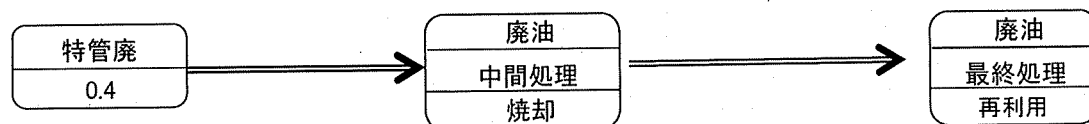
B-2



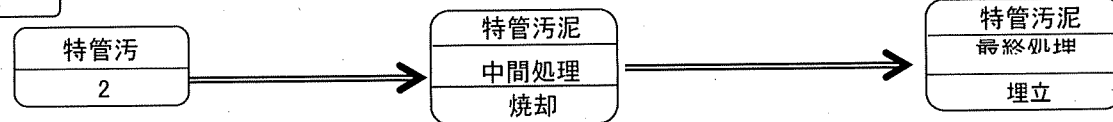
B-3



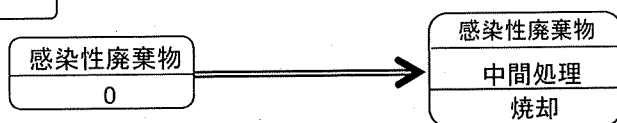
G-1



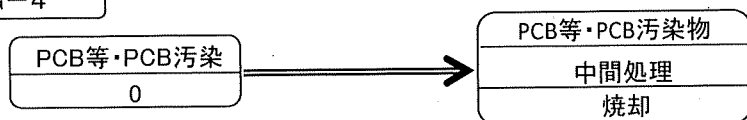
G-2



G-3

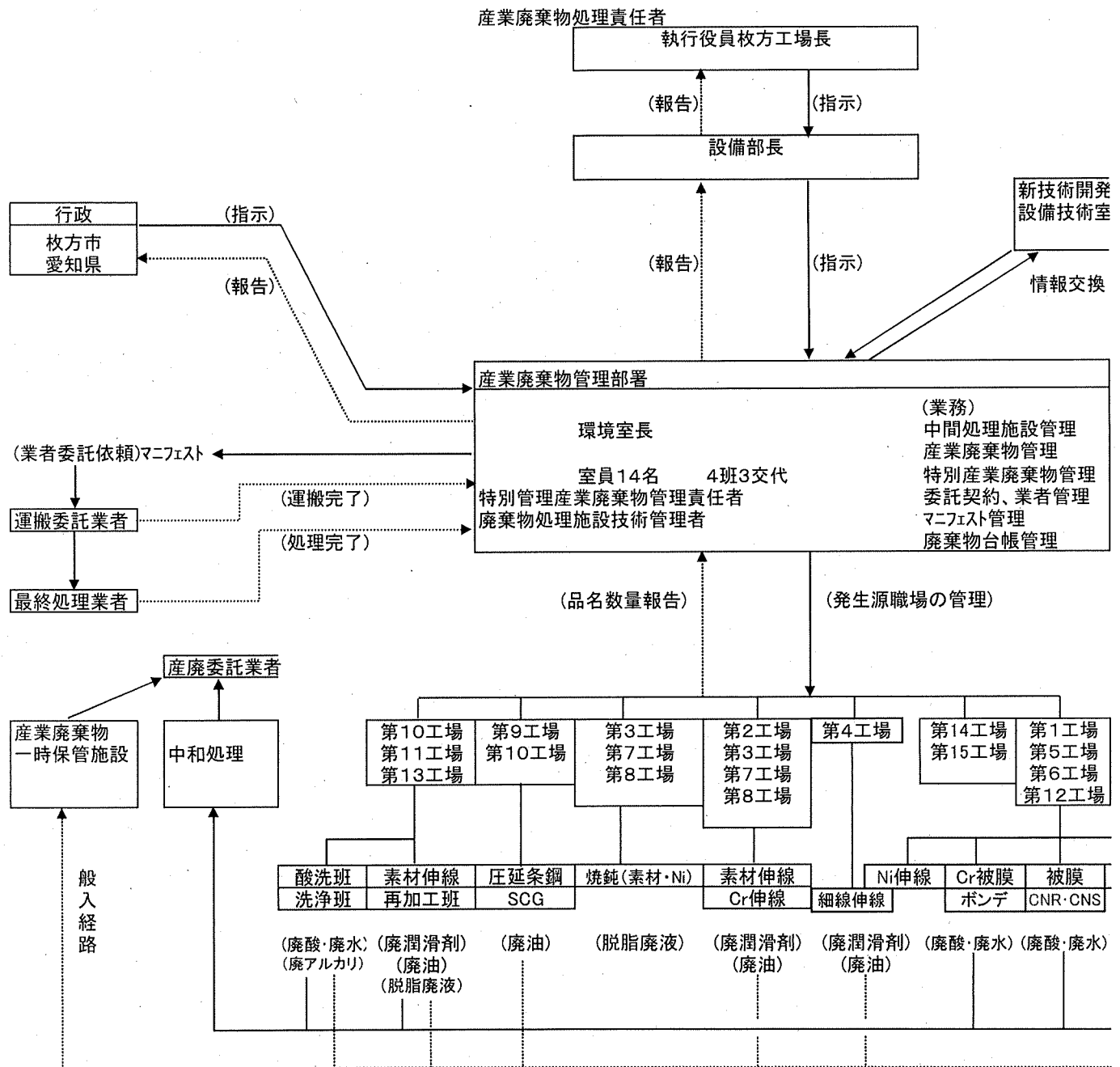


G-4



日本精線株式会社枚方工場 産業廃棄物管理組織図

作成 2001/04/02
改訂 2021/06/10
日本精線株式会社枚方
設備部 環境室 作成

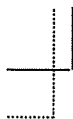


i工場

担当

酸洗

(廃酸・廃水)
(廃アルカリ)



前 年 度 【 令和 2 年 度 】 実 績

住 所	名 称	担 当 者	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理型共同募投を担出する事業と提携的に運営する 支店等の住所	特別管理型共同募投を担出する事業と提携的に運営する 支店等の住所	特別管理型共同募投を担出する事業と提携的に運営する 支店等の住所	特別管理型共同募投を担出する事業と提携的に運営する 支店等の住所	特別管理型共同募投を担出する事業と提携的に運営する 支店等の住所	特別管理型共同募投を担出する事業と提携的に運営する 支店等の住所
大阪府枚方市池之宮4-17-1	日本積株株式会社 枚方工場				

コード	事業名	計 画 数										計 画 額				実 績				備 考			
		① 計画数	② 計画額	③ 計画単価	④ 計画単価	⑤ 計画単価	⑥ 計画単価	⑦ 計画単価	⑧ 計画単価	⑨ 計画単価	⑩ 計画単価	⑪ 計画単価	⑫ 計画単価	⑬ 計画単価	⑭ 計画単価	⑮ 計画単価	⑯ 計画単価	⑰ 計画単価	⑱ 計画単価	⑲ 計画単価	⑳ 計画単価	㉑ 計画単価	㉒ 計画単価
1	7000 ① 燃えやすい廃油	0.4																					
2	7100 ② PH2以下の廃酸	580																					
3	7200 ③ PH12以上の7ル	18																					
4	7428 ④ 汚泥(漆喰)を	2																					
5	⑤																						
6	⑥																						
7	⑦																						
8	⑧																						
9	⑨																						
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
合計		600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) トン単価は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁までは記載可。

生 所	役 出 名	職 務	電 話 番 号	FAX	電子メールアドレス
本学事務センター	事務センター長	事務センター長	事務センター長	事務センター長	事務センター長
大阪府枚方市池之宮4-7-1	日本経済株式会社 枚方工場	大阪府枚方市池之宮4-7-1	大阪府枚方市池之宮4-7-1	大阪府枚方市池之宮4-7-1	大阪府枚方市池之宮4-7-1

コード	品 名	計 画 数 額 (円)										計 算 式		備 考
		① 印刷費	② 自ラ印刷用紙	③ 自ラ印刷用紙	④ 自ラ印刷用紙	⑤ 自ラ印刷用紙	⑥ 自ラ印刷用紙	⑦ 自ラ印刷用紙	⑧ 自ラ印刷用紙	⑨ 自ラ印刷用紙	⑩ 自ラ印刷用紙	⑪ 自ラ印刷用紙	⑫ 自ラ印刷用紙	
17000	①燃えやすい廃油	0.4												
27100	②PH42以下の廃液	551												
37200	③PH12以上の7N	17												
47420	④汚泥(乾燥値を 含む)	2												
5	⑤													
6	⑥													
7	⑦													
8	⑧													
9	⑨													
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
合 計		570	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

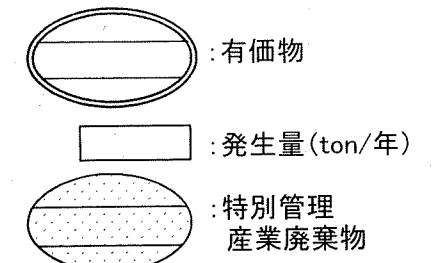
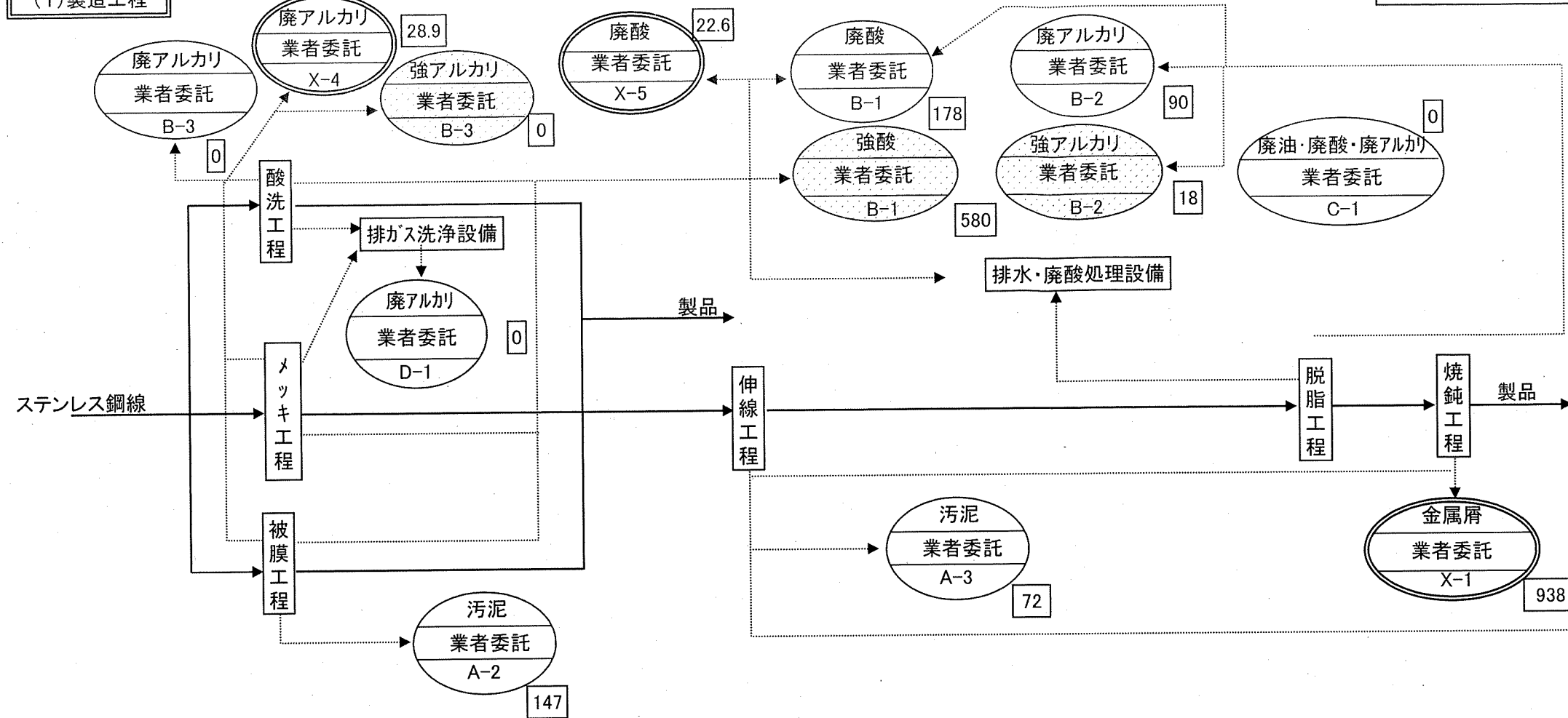
(注) トン単位は概算として印刷入、出力、数字が桁数であれば小数点以下3桁まで記載可。

2020年度発生工程フロー図(特別管理、有用物を含む)

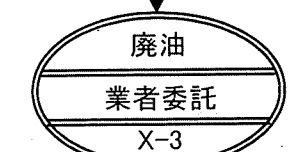
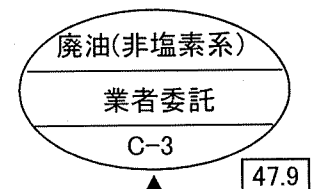
2020年度 産業廃棄物発生量 : 19,292 ton/年

2020年度 産業廃棄物総排出量: 2,573 ton/年

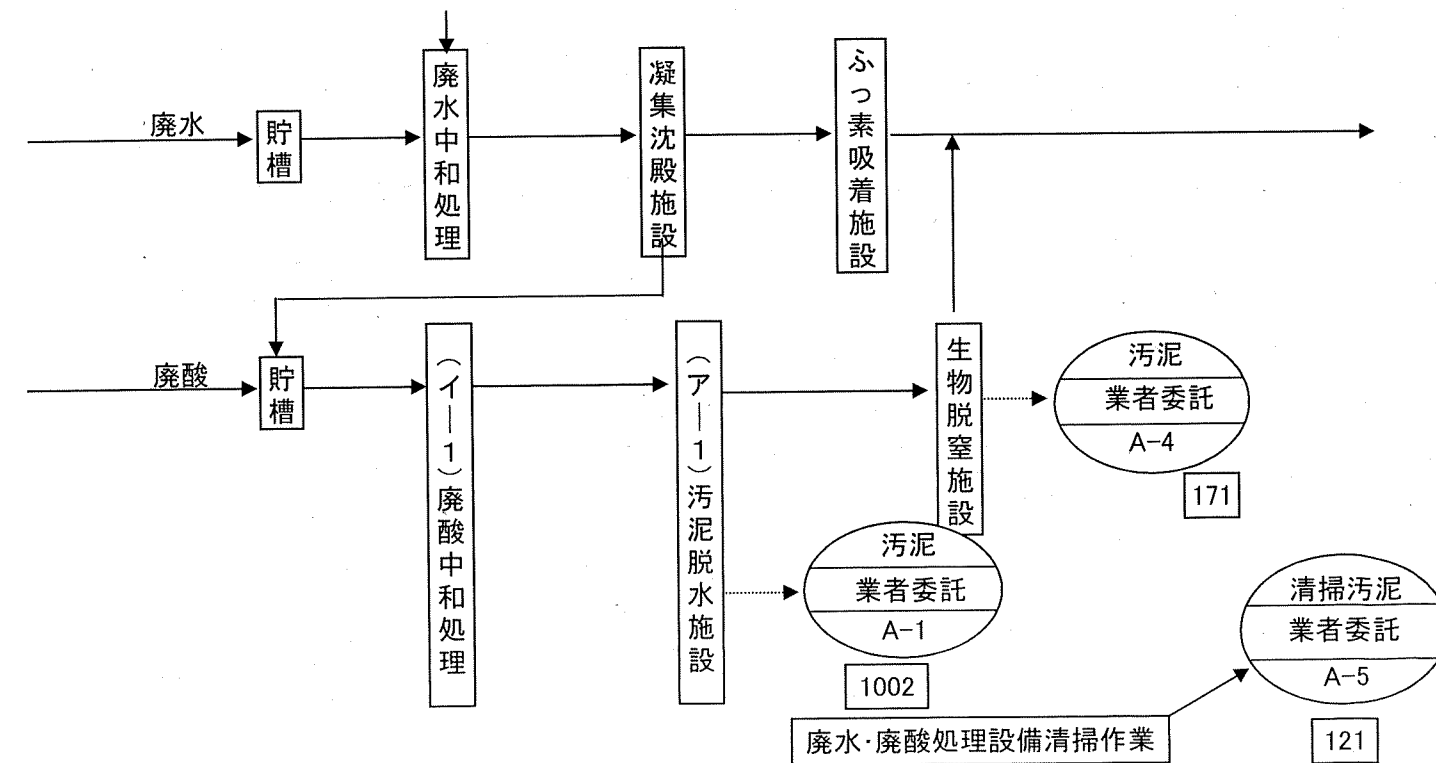
(1) 製造工程



コンプレッサー等補機類



(2) 排水・廃酸処理設備



(3) 検査・出荷・他工程

